

3 生涯学習・社会教育

基本目標 学びの成果を活かせる生涯学習の推進

基本施策1 生涯学習・社会教育活動の充実

| | |
|------|--|
| 状況 | <p>多様化する市民の学習ニーズに対応するため、公民館等での事業・講座については、参加者や講師の広がりに向けて取り組んだほか、地域課題の解決や生きがいに資するよう、内容の充実を図った。</p> <p>図書館については、蔵書の整備をはじめ、利用者の多様なニーズに応じた資料の収集や提供、情報発信などに取り組んだほか、レファレンス（調査・相談）サービス、子どもの読書活動を推進するための学校等に出向いてのブックトーク及び市立小・中学校の図書館運営の支援等を行った。</p> |
| 主な取組 | <p>(1) 公民館等での学習機会の充実</p> <p>(2) 誰もが気軽に利用できる図書館の充実</p> |

【評価】

| | |
|------|--|
| やや遅れ | <p>公民館利用者数は高い数値で推移しており、生涯学習に係る情報提供として学習情報紙の発行部数は増加している。</p> <p>また、図書館については、レファレンス（調査・相談）サービスの件数や、小中学校の総合的な学習や児童生徒の読書活動に向けた図書のセット貸出件数が増加している。</p> |
|------|--|

【基本施策に関する指標（数値目標）】

| 項目 | | 2016(H28)年度 | 2017(H29)年度 | 目標値 2021(H33)年度 |
|----|---------|-------------|-------------|--------------------|
| 1 | 公民館利用者数 | 1,119 千人 | 1,106 千人 | 1,145 千人 |
| 2 | 図書館利用者数 | 1,769 千人 | 1,631 千人 | 1,800 千人 |

（項目説明）

- 1：講座への参加やサークル活動、会議等、様々な目的で公民館を利用した人数
- 2：貸出しだけでなく、調べ物や行事への参加等で、図書館へ来館した人数



『親の力』をまなびあう学習プログラム
を活用した出前講座



市民大学の様子（書道）

| | | | | | |
|---|--|--|---------|---------|---------|
| 主な取組 | 公民館等での学習機会の充実 | | | | |
| 概要等 | 課題 | | | 今後の方針 | |
| 公民館等での学習機会の充実 | | | | | |
| <p>○公民館等において住民の学習ニーズに応える講座のほか、現代的課題や地域課題に視点を置き、その解決とまちづくり推進のための講座を実施した。</p> <p>○各自治会を単位として、日常生活における様々な人権問題や地域課題等をテーマに、人権意識の向上のため、地域別住民学習会を開催した。</p> <p>○子育て中の親を対象に、家庭教育の充実に向けて、親子関係をより豊かなものにしていくため、保育所等で『親の力』をまなびあう学習プログラムを活用した出前講座を実施した。</p> | <p>○参加者や年齢層が固定化傾向にあり、講座内容が学習ニーズに十分に応えるものではなかった。</p> <p>○地域課題を人権の視点から捉え、さまざまな人権問題へとつなげていくための学習展開を検討する必要がある。</p> <p>○『親の力』をまなびあう学習プログラム」出前講座をより多くの保護者に利用してもらうため、公民館だよりや保育所等の保護者会等を通して情報提供を行う必要がある。</p> | <p>○現代的課題や地域課題の解決に向けて講座内容を工夫することで、住民の学習意欲を喚起するとともに、関係各課や大学、NPOなどと連携して、社会の変化に対応できるような取組を推進する。</p> <p>○子育て応援センターをはじめ保健福祉局との連携を図る中で、未就園児の親など幅広い世代を対象とした取組を検討する。</p> | | | |
| 生涯学習情報の提供 | | | | | |
| <p>○生涯学習センターや公民館等で行われる講座等を人権・生涯学習課や生涯学習センターが開設するホームページで公開することで、学習機会の提供を図った。</p> <p>○生涯学習センター発行の学習情報紙や公民館だよりを定期的に発行することにより、学習情報や地域活動を周知するほか、人権啓発につなげた。</p> | <p>○学習情報紙の掲載内容を精査し、読みやすく市民にとって効果的な情報提供となるよう工夫する必要がある。</p> <p>○学習情報紙以外にも、ホームページによる情報提供を行っているが、アクセス件数が伸びない状況にある。</p> | <p>○市民にとってより効果的な情報提供となるようホームページを魅力ある内容となるよう工夫を加えることで、幅広い世代に対して情報を発信していく。</p> | | | |
| 実績数値 | | | | | |
| 【公民館の利用状況】 | | | | | |
| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
| 延べ利用件数 | 89,722件 | 90,484件 | 94,661件 | 93,573件 | 93,545件 |

【地域別住民学習会への参加状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 参加者数 | 22,462人 | 22,759人 | 22,534人 | 22,197人 | 21,429人 |
| 参加率 | 17.60% | 17.90% | 17.90% | 17.70% | 17.10% |

【講座等への参加状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 『親の力』をまなびあう学習プログラム参加者数 | 1,066人 | 1,252人 | 1,488人 | 1,548人 | 1,250人 |

【学習情報紙の発行部数】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 生涯学習センター情報紙 | 115,460部 | 121,060部 | 129,111部 | 133,763部 | 123,969部 |
| 公民館だより | 1,298,375部 | 1,330,518部 | 1,345,978部 | 1,353,618部 | 1,380,475部 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 主な取組 | 誰もが気軽に利用できる図書館の充実 | | |
| 概要等 | 課題 | 今後の方針 | |
| 蔵書の整備 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○福山ゆかりの人物、ばらのまち福山ミステリー文学新人賞やばらに関する資料を収集し、「福山らしさコーナー」や「福ミスコナー」で効果的に配置した。 ○雑誌の充実を図るため、閲覧雑誌の最新号のカバー等にスポンサーの広告掲載を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○予約状況や市民の要望を把握する中で蔵書を整備する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○資料の充実を図るため、市民の要望の把握に努め、広範かつ体系的に収集するとともに、郷土資料の収集に努め、郷土の情報を広く市民などに発信する。 | |
| 多様な図書館ニーズへの対応 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルアーカイブシステムで「広報ふくやま」や新聞の地域版の閲覧ができるよう、順次整備している。 ○レファレンスサービス（調査・相談）や市民のビジネス活動を支援するビジネス相談会や講座等を行っている。 ○地域住民の読書環境の整備のため、公民館等へ図書の本体貸出を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○図書館ホームページのほかFacebookなど様々な媒体を活用し、引き続き、館内展示や講座等の情報発信を行う必要がある。 ○ビジネス相談会をはじめとした、特色のあるサービスを引き続き提供する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○研究や調査のために必要な資料を提供するほか、日常生活の中でわからないことや調べたいことなどの相談に応じるなど、レファレンス機能の充実を図る。 ○ビジネスセミナーや高校生を対象としたビジネスプラン作成講座など、市民のニーズに応じたビジネス支援サービスを実施する。 | |
| 子どもの読書活動の推進 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○子どもに読書を親しんでもらうために、図書館職員が学校等に出向いてのブックトークや、お薦め本の紹介などを実施した。 ○小中学校の総合的な学習や児童生徒の読書活動に向けた図書の貸出を行った。 ○図書館職員が、学校図書館の環境整備やその運営を行う職員への支援を行うほか、図書ボランティアへの指導・助言等を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ブックトークなどを行う場合に、子どもの興味や学校等の要望を事前に把握する必要がある。 ○学校図書館について、子どもが利用しやすい利用時間の設定や、図書を探しやすい配架など、利用環境の整備が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ○保護者やボランティア向けの講演会やおはなし会等を開催するほか、学校等に出向いての本の紹介など、子どもが読書に親しむ環境を整備する。 ○学校図書館の職員等と子ども読書に関する情報を交換する中で、子どもの興味や学校図書館に対する学校等の要望を把握する。 | |

実績数値

【貸出等の状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 全蔵書冊数 | 1,083,575点 | 1,124,379点 | 1,150,441点 | 1,174,027点 | 1,190,034点 |
| 図書の貸出冊数 | 3,305,722冊 | 3,383,752冊 | 3,369,468冊 | 3,239,005冊 | 3,134,347冊 |
| 図書のセット貸出 | 19,385冊 | 20,899冊 | 24,142冊 | 22,572冊 | 22,641冊 |

【多様な図書館ニーズへの対応状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|------------------|----------|----------|----------|------------|------------|
| レファレンスサービス | 4,265件 | 4,191件 | 6,545件 | 7,584件 | 8,336件 |
| 図書館ホームページのアクセス件数 | 728,892件 | 864,267件 | 907,820件 | 1,192,031件 | 1,839,241件 |
| 図書館職員の学校等への派遣回数 | 53回 | 49回 | 46回 | 75回 | 73回 |

基本施策2 学習成果を地域で活かせる環境の整備

| | |
|-------------|---|
| <p>状況</p> | <p>活力ある地域のまちづくりを推進するため、地域活動や家庭教育支援などに携わるボランティアなどの人材が求められており、ボランティアの養成講座やふくやま人財大学などにより人材を育成した。また、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」では、出前講座で進行役を担う人材を育成するとともに、スキルアップのためフォローアップ研修を行ったほか、公共性・社会性の高い生涯学習活動を行っている団体に対し、補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>公民館等が地域の学習交流拠点として、団体や組織、住民同士のつながりが促進され、それらのネットワークが効果的に機能するよう、情報提供や交流の充実に向けて取り組んだ。</p> |
| <p>主な取組</p> | <p>(1) 地域で活動する人材の育成 (2) 学習成果を活動につなげる仕組みづくり</p> |

[評価]

| | |
|--------------------|---|
| <p>おおむね 順調</p> | <p>指標は前年度を下回っているが、家庭教育支援に携わる人材として子育てサポーターリーダーを育成し、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を活用した出前講座へ推進役として参画することで、学習成果を地域活動に還元する機会となっている。</p> <p>知識や技能を持つ市民がその学習成果を活動につなげる取組として「生涯学習講師派遣事業」を実施しており、市民講師の派遣回数が増えている。</p> |
|--------------------|---|

[基本施策に関する指標（数値目標）]

| 項目 | | 2016(H28)年度 | 2017(H29)年度 | 目標値 2021(H33)年度 |
|----|------------------|-------------|-------------|--------------------|
| 1 | 子育てサポーターリーダーの参画率 | 73.0% | 60.6% | 75.0% |

(項目説明)

「子育てサポーターリーダー」登録者が、出前講座へファシリテーターとして参画をした割合



ふくやま人財大学
(ふくやま・まちづくり大学ノフィールドワーク)



生涯学習活動費補助金事業
(防災力アップサークル)

| | | | | | |
|--|---|---|-------|--------|--------|
| 主な取組 | 地域で活動する人材の育成 | | | | |
| 概要等 | 課題 | | 今後の方針 | | |
| 地域で活動する人材の育成 | | | | | |
| <p>○「まちづくりの担い手」を育成するため、市民を対象に地域活動に関わる幅広いコース・講座を設ける「ふくやま人財大学」を開講した。</p> <p>○「ふくやま人財大学」では、「福山防災大学」等の各種講座で専門的知識を学ぶほか、「ふくやま・まちづくり大学」を全ての受講者が受講できる共通科目として位置付けることで、地域活動に必要な知識やネットワークを広げる方法などを学べるようにした。</p> <p>○生涯学習活動の活性化のため、福山市生涯学習振興基金の益金を活用して、公共性・社会性の高い生涯学習活動を行っている団体を支援した。</p> <p>○『親の力』をまなびあう学習プログラム」出前講座で進行役を担う人材を「子育てサポーターリーダー養成講座」において育成するとともに、講座修了者を対象にフォローアップ研修を実施し、ボランティア活動の機会の少ない人のスキルアップにつなげた。</p> | <p>○各種講座修了者が活動を継続するために、講座修了後に学習成果を活用することを意識した内容となるような講座を企画、実施することが必要である。</p> <p>○申請団体数が減少傾向にあり、制度について広く周知する必要がある。</p> <p>○特定の子育てサポーターリーダーに負担がかからないよう、ボランティアの少ない地域で人材育成を図るほか、活動について、子育てサポーターリーダー養成講座修了者に対し、広く参画を促す必要がある。</p> | <p>○学習者がその成果を地域活動の中で実践できる環境の整備や人材育成を行う等、住民による相互学習（学び合い）を支援する。</p> <p>○申請件数の増加に向けて、学習情報紙やホームページ等を通して制度の周知を図るほか、市民団体については、活動費の補助に加えて、活動内容の周知等の支援を行う。</p> <p>○子育てサポーターリーダー養成講座修了者に対して、研修の機会や家庭教育に関する情報を提供し、出前講座の運営を円滑に進めるためのスキルアップや、講座修了者間のネットワークづくりを継続的に支援する。</p> | | | |
| 実績数値 | | | | | |
| 【ふくやま人財大学の受講状況】 | | | | | |
| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
| 延べ受講者数 | | | | 2,141人 | 2,767人 |
| ※2016年度から開催 | | | | | |

【生涯学習活動費補助金の状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 採択団体数 | 13団体 | 15団体 | 15団体 | 15団体 | 10団体 |

【「『親の力』をまなびあう学習プログラム」関連の養成講座等の状況】

| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
|---------------------------|------|------|------|------|------|
| 子育てサポーターリーダー養成講座参加者数 | 18人 | 18人 | 14人 | 17人 | 7人 |
| 子育てサポーターリーダーフォローアップ研修参加者数 | 53人 | 45人 | 33人 | 16人 | 30人 |

| | | | | | |
|---|--|-------|-------|--|-------|
| 主な取組 | 学習成果を活動につなげる仕組みづくり | | | | |
| 概要等 | 課題 | | | 今後の方針 | |
| <p>○公民館は、地域の学習の交流拠点として、団体や組織、住民同士のつながりを促進し、地域の教育力を高めていくため、公民館で活動しているグループ・サークルの紹介や講座等の情報を地域住民等に提供した。</p> <p>○人材バンク「福の山」に生涯学習に関するさまざまな知識や技能を持つ市民を講師として登録し、学習サークルや団体など利用者の学習ニーズに応じて、派遣した。</p> <p>○各生涯学習センターが地域住民や団体との協働で開催する「生涯学習フェスティバル」において、参画する団体やボランティア間でネットワークづくりが図られ、学習成果を発揮する場になった。</p> | <p>○グループ・サークル間の交流を図るとともに、地域住民に対して活動内容を周知する取組が必要である。</p> <p>○人材バンク「福の山」の活用促進を図るため、学習サークルや団体をはじめ、広く市民に周知する必要がある。</p> <p>○各種イベントのボランティアについては、一過性のもので継続的な活動になっておらず、学習成果を地域活動に還元できていない。</p> | | | <p>○公民館等で行われているグループ・サークルの活動が、地域活動に広く還元されるようなグループ・サークルと地域との関係づくりに取り組む。</p> <p>○ボランティアなどが地域で活動できるよう、地域ニーズに即したマッチングを行い、ボランティアやグループ・サークル、NPOなどの活動が、地域活動に広く還元されるよう取り組む。</p> | |
| 実績数値 | | | | | |
| 【公民館グループ・サークルの状況】 | | | | | |
| | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
| 公民館のグループ・サークル数 | 1,682 | 1,736 | 1,868 | 1,849 | 1,828 |
| 【人材バンク「福の山」の状況】 | | | | | |
| 区分 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 |
| 登録人数 | 43人 | 68人 | 62人 | 62人 | 61人 |
| 派遣回数 | 17回 | 26回 | 29回 | 42回 | 60回 |